



オーディオインターフェース

Rio3224-D3

Rio1608-D3

取扱説明書

目次

安全上のご注意 3

はじめに 6

使用対象者.....	6
使用目的	6
マニュアルの構成	6
ファームウェアのアップデート	6
ラックマウント時の注意	7
リセスについて	7
ソースコードの配布	7

各部の名称と機能 8

フロントパネル.....	8
リアパネル.....	10

ディスプレイ操作 12

基本操作	12
主な画面	12

起動時のミュート 13

START UP モード.....	13
-------------------	----

本体の初期化 13

仕様 14

一般仕様	14
寸法図	15

保証とアフターサービス 16

修理に関するお問い合わせ 17

製品の仕様や取り扱いに関する お問い合わせ 17

付属品（お確かめください）

- ・ 電源コード × 2
- ・ 取扱説明書
（本書：保証書が記載されています。）

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号	
禁止を示す記号	
行為を指示する記号	



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおい煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
- ・無理に曲げない
- ・傷つけない
- ・電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

必要に応じて、定期的にほこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。



必ず実行

本製品をコンセントの近くに設置する。

本製品は複数の電源を受給します。電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でもすべての電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。



禁止

雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。

接続



必ず
接地接続

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

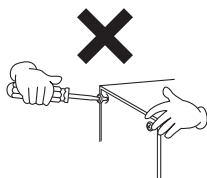
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。



水に注意



禁止

- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

聴覚障害



必ず実行

- ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。
- 電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。
聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



注意 「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

電源



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。
本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない
本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

本製品の通風孔をふさがない。
内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面/背面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

放熱のため、本製品を設置する際は、

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
- 天面以外を上にして設置しない。
- 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



必ず実行

本製品をEIA標準ラックにマウントする場合は、7 ページの「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。
放熱が不十分だと製品内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。
EIA標準のラック以外に本製品を入れる場合は、本機の周囲に上 1 cm、左右 1 cm、背面 5 cm 以上のスペースを確保してください。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。
故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。
ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。

お手入れ



必ず実行

本製品をお手入れするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

本製品の通風孔に手や指を入れない。
けがをするおそれがあります。



禁止

本製品の上にのったり重いものをのせたりしない。
本製品が破損したり、けがをしたりする原因になります。

注記（ご使用上の注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- ・ 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続する。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定する。
電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）には直接接続しない。
- ・ テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。
本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。
- ・ 極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・ 温度変化が激しい場所に設置しない。
製品内部や表面に結露が発生し、故障する原因になります。
- ・ 結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。
結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。
- ・ 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
パネルの変色 / 変質の原因になります。
- ・ お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用する。次亜塩素酸ナトリウム、アルコール、ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。
変色 / 変質する原因になります。

- ・ バランス出力をアンバランス機器に接続する場合は、各機器間のグラウンド電位を合わせる。

グラウンド電位が合っていないと、故障の原因になります。アンバランス（不平衡）機器接続ケーブルの配線はピン 3: コールドとピン 1: グラウンドを接続してお使いください。

お知らせ

■ データの著作権に関するお知らせ

- ・ ソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。

■ 著作権法保護について

- ・ 本製品を国や地域の法律が定める著作権をはじめとする第三者の権利を侵害する用途で使用しないでください。
- ・ あなたが本製品を使用して第三者の権利を侵害しても、弊社は一切責任を負いません。

■ 製品の機能 / データに関するお知らせ

- ・ 本製品は Audinate 社提供の Dante モジュールを使用しています。
本製品で使用している Dante モジュールは Dante Controller で確認できます。
Dante モジュールごとの、使用しているオープンソースライセンスについては、Audinate 社のウェブサイト（英語）をご覧ください。
<https://www.audinate.com/software-licensing>
- ・ 本製品で使用しているオープンソースライセンスは、本体の画面で確認できます。詳細は、Rio3224-D3 Rio1608-D3 リファレンスマニュアルをご参照ください。
- ・ XLR タイプコネクタのピン配列は、以下のとおりです（IEC60268 規格に基づいています）。
1: グラウンド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (-)

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・ ソフトウェアまたは取扱説明書を使用した結果と影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

■ 廃棄に関するお知らせ

- ・ 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

はじめに

このたびは、ヤマハRio3224-D3、Rio1608-D3をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、ミキシングシステムで使用するDante対応I/Oラックです。

本製品のさまざまな機能を十分に活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

NOTE

- ・本文中の説明でRio3224-D3とRio1608-D3とで仕様が異なる場合、Rio1608-D3のみの仕様については{}でくくって表記します。
(例:[INPUT] (インプット) 1~32 {1~16})
- ・イラストは特にことわりがない場合、Rio3224-D3のものを使用しています。
- ・Rio3224-D3とRio1608-D3で共通の仕様については、単にRio-D3と表記します。
- ・本書では、Rio-D3のヘッドアンプをコントロールできるデジタルミキサーやR Remoteなどを「対応機器」と呼びます。

使用対象者

本製品は、ミキシングエンジニアやオペレーターなどミキシングシステムの設定ができる方を対象としています。

使用目的

本製品は、ホールやイベント、放送プロダクションでのミキシングシステムで使用します。

マニュアルの構成

取扱説明書(本書)

主にパネル上の各部の名称と機能について説明しています。

Rio3224-D3、Rio1608-D3リファレンスマニュアル

機能や操作方法を詳細に説明しています。ヤマハ プロオーディオ ウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

ステータス/メッセージ一覧

[SYSTEM]や[SYNC]インジケータの点灯/点滅やディスプレイに表示されるメッセージの表示内容について説明しています。

<https://manual.yamaha.com/pa/dante/status/>



各マニュアルはヤマハウェブサイトからダウンロードできます。ヤマハウェブサイトには常に最新のマニュアルデータが掲載されていますので、必要に応じてご利用ください。

<https://download.yamaha.com/>

ファームウェアのアップデート

本製品は、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートできる仕様になっています。

ファームウェアのアップデートに関する情報は、下記ウェブサイトに掲載されています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

アップデート手順や本体の設定については、ウェブサイトを用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

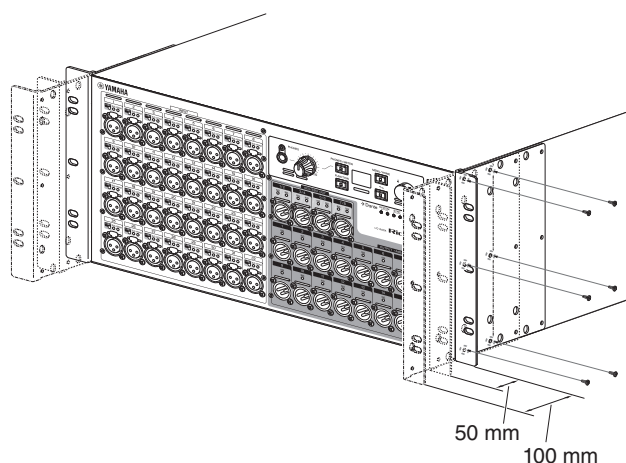
ラックマウント時の注意

この機器が動作保証する室温は0～40℃です。この機器を複数台または他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。この機器に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

- 3台以上のRio-D3をすき間を空けずにマウントする場合は、ファン速度をHIGHに設定してください。
- ファン速度をLOWに固定してこの機器を複数台マウントする場合は、この機器2台ごとに1 U以上のすき間を空けてください。また、このすき間は通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を1 U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10 cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラック背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気用装置を設置してください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書をご参照ください。

リセスについて

この機器は、ラックマウント金具の取り付け位置をずらすことで、下の図のように、フロントパネル面をラック前面より50 mmまたは100 mm奥に配置できます。



同様に、リアパネル面側にもラックマウント金具を取り付けることが可能です。

NOTE

金具を取り付けるときは、必ず取り外したネジをそのままご使用ください。

ソースコードの配布

本製品の最終出荷日から3年間は、製品のソースコードのうちGNU General Public License / GNU Lesser General Public License / RealNetworks Public Source Licenseに基づいてライセンス供与された部分については、ソースコードを配布できます。以下の住所にお問い合わせください。

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1
ヤマハ株式会社 音響事業本部
プロフェッショナルソリューション事業部
PA推進部 マーケティング&セールスグループ

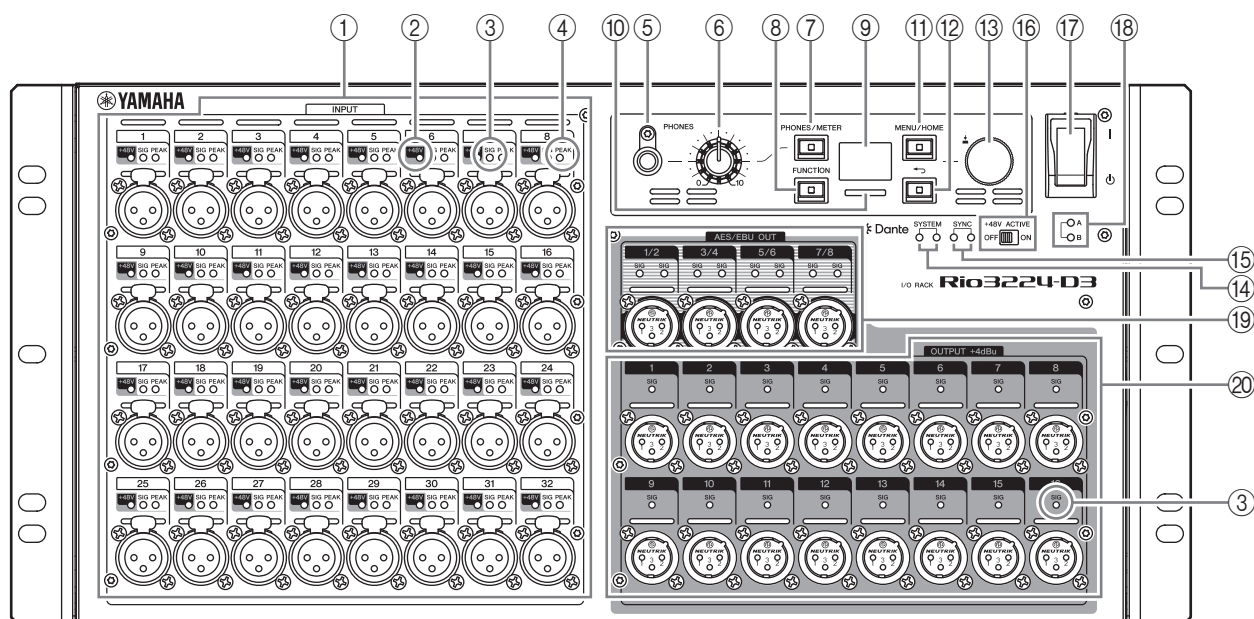
ソースコードの配布自体は無償ですが、ソースコードの送料につきましてはご負担いただきます。また、ソースコードは以下のURLでも配布しております。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

- 弊社（または弊社認定の関係者）以外の第三者による、この製品のソフトウェアに対する変更や追加、削除によって発生したいかなる損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社により一般に公開されたソースコードの再利用は保証されておりません。ソースコードに関して弊社は一切責任を負いません。

各部の名称と機能

フロントパネル



① [INPUT] (インプット) 1～32 {1～16}

バランスXLR3ホール入力端子で、各チャンネルにアナログ信号を入力します。定格入力レベルは-62 dBu～+10 dBuです。+48 Vファンタム電源を必要とする機器に電源を供給できます。

② [+48V]

各INPUTチャンネルの+48 Vファンタム電源の設定がオンのとき点灯するインジケータです。オン/オフ切り替えは、本体フロントパネルにあるディスプレイや対応機器からコントロールします。[+48V ACTIVE]スイッチがオフの場合、各チャンネルのファンタム電源の設定がオンでもファンタム電源は供給されません(このとき[+48V]インジケータは点滅します)。



警告

ファンタム電源のオン/オフを切り替えるときは、スピーカー保護のために、パワーアンプ(パワードスピーカー)の電源をオフにしてください。また、デジタルミキサーの出力コントロールは、すべて最小にしてください。大音量が出て、聴力障害、または機器の損傷になることがあります。

ご注意

- ・ ファンタム電源が不要なときは[+48V ACTIVE]スイッチあるいはファンタム電源の設定を、必ずOFFにしてください。
- ・ ファンタム電源をオンにする場合は、コンデンサーマイクなどのファンタム電源を必要とする機器以外が[INPUT]端子に接続されていないことを確認してください。機器の故障の原因になります。
- ・ ファンタム電源をオンにしたまま[INPUT]端子で機器を抜き差ししないでください。機器および本体の故障の原因になります。

③ [SIG] (シグナル)

各チャンネルの入出力が-40 dBFS以上のとき緑色に点灯するインジケータです。

④ [PEAK] (ピーク)

各INPUTチャンネルの入力レベルが-3 dBFS以上のとき赤色に点灯するインジケータです。

⑤ [PHONES] 端子

割り当てた音声信号(INPUT/OUTPUT)を出力するヘッドホン端子です。PHONES画面で信号の割り当てとパラメーター値を確認できます。

⑥ [PHONES] レベルノブ

[PHONES] 端子から出力される信号のレベルを調節するノブです。

⑦ [PHONES/METER]

このキーを押して、ディスプレイにPHONES画面やMETER画面を表示します。押すたびに画面が切り替わります。

長押しするとPEAK HOLDがクリアされます。

⑧ [FUNCTION]

このキーを押して、あらかじめ割り当てたファンクション画面を呼び出します。

⑨ ディスプレイ

現在設定されている各チャンネルのヘッドアンプなどのパラメーター値やエラー/ステータス情報などを表示します。

⑩ カラーバーインジケータ

本体の状態を表示します。正常時の色や点灯/消灯の設定を変更できます。また、エラーや注意時の点灯/点滅/消灯の設定を変更できます。

詳細はリファレンスマニュアルをご参照ください。

⑪ [MENU/HOME]

ホーム画面がディスプレイに表示されているときにこのキーを押すと、MENU TOP画面が表示され、メニューを選択できます。ホーム画面以外の画面が表示されているときにこのキーを押すとホーム画面が表示されます。

⑫ [←] (バック)

このキーを押すと、画面表示が1つ前の画面に移動します。

⑬ スイッチ付きエンコーダー

このエンコーダーを回して、ディスプレイに表示されるメニューやパラメーターの選択、パラメーター値の変更をします。またこのエンコーダーを押すことで、選択の決定や表示の切り替えができます。

⑭ [SYSTEM]

本体の動作状態をあらわすインジケータです。緑色のインジケータが点灯し、赤色のインジケータが消灯しているときは正常に動作しています。

電源をオンにしても緑色のインジケータが消灯している、赤色のインジケータが点灯/点滅している場合は異常が発生しています。

詳細はリファレンスマニュアル、またはステータス/メッセージ一覧(*)をご参照ください。

⑮ [SYNC]

本体に内蔵されているDanteの動作状態をあらわすインジケータです。

緑色のインジケータが点灯している場合は、機器がクロックフォロワーでありクロックが同期していることを示します。

緑色のインジケータが点滅している場合は、機器がクロックリーダーであることを示します。

電源をオンにしても緑色のインジケータが消灯している場合は異常が発生しています。

橙色のインジケータやその他の詳細については、リファレンスマニュアル、またはステータス/メッセージ一覧(*)をご参照ください。

⑯ [+48V ACTIVE]

+48 Vファンタム電源をオン/オフします。

[+48V ACTIVE]スイッチがオフの場合、各チャンネルのファンタム電源の設定をオンにしてもファンタム電源は供給されません。この場合、[+48V]インジケータは各チャンネルのオンを点滅で示します。工場出荷時は、オフになっています。

⑰ 電源スイッチ [I]/[O]

電源のオン(I)/オフ(O)を切り替えます。

ご注意

電源スイッチのオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤作動の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

⑱ 電源インジケータ [A]/[B]

本体の電源がオンのとき点灯します。

⑲ [AES/EBU OUT] 1/2~7/8

(Rio3224-D3のみ)

バランスXLR3ピン出力端子で、各チャンネルからAES/EBUフォーマットのデジタルオーディオを出力します。1つの端子で2チャンネル出力します。

⑳ [OUTPUT +4dBu] 1~16 {1~8}

バランスXLR3ピン出力端子で、各チャンネルからアナログ信号を出力します。定格出力レベルは+4 dBuです。

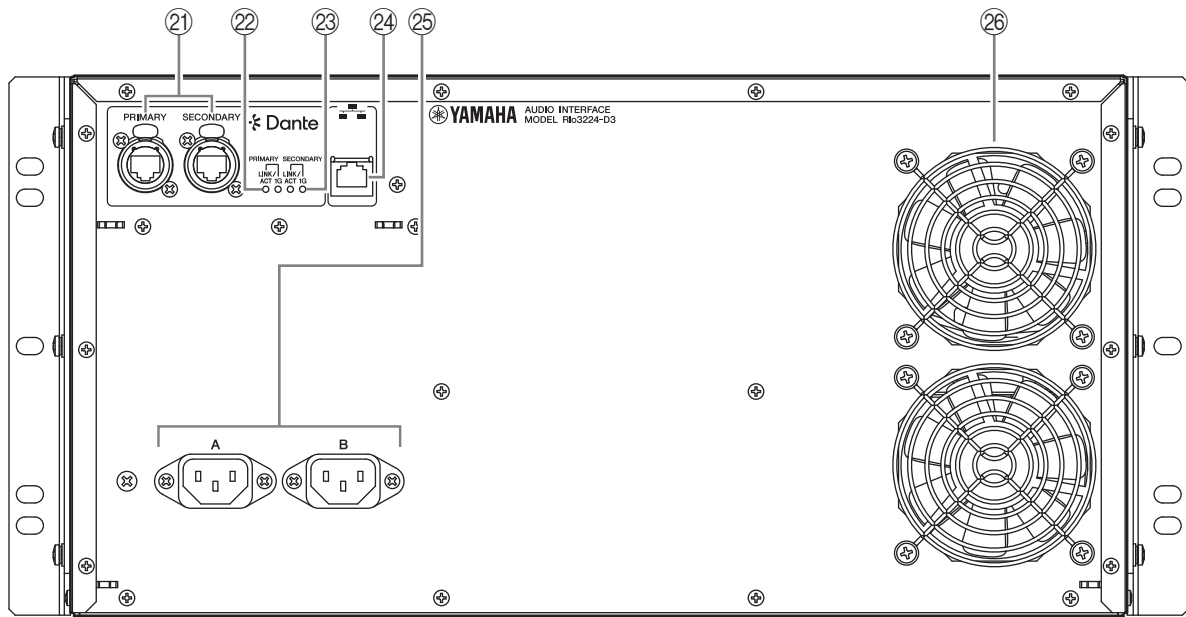
*ステータス/メッセージ一覧

[SYSTEM]や[SYNC]インジケータの点灯/点滅やディスプレイに表示されるメッセージの表示内容について説明しています。

<https://manual.yamaha.com/pa/dante/status/>



リアパネル



②① Dante [PRIMARY]/[SECONDARY]

イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、RIVAGE PM、DM7、DM3、CL、QL シリーズなどのDante機器と接続するetherCON (RJ-45) 端子です。

SECONDARYポート(*)をDAISY CHAINに設定している場合、片方の端子から入った信号をもう片方の端子に送信します。

また、SECONDARYポート(*)をREDUNDANTに設定している場合、[PRIMARY]端子はプライマリー接続用、[SECONDARY]端子はセカンダリー(バックアップ)接続用です。何らかの理由で[PRIMARY]端子で伝送できなくなった場合(ケーブルが損傷したり、誤って接続が外れたりした場合、あるいはネットワークスイッチが故障した場合など)には、自動的に[SECONDARY]端子に切り替わります。

(* SECONDARYポートの設定画面を表示するには、まずMENU TOP画面を表示してSETUPを選択/確定します。次にSETUPメニューでSEC.PORT (SECONDARY PORT)を選択/確定します。)

詳細はリファレンスマニュアルをご参照ください。

ご注意

電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をご使用ください。STPケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。

NOTE

- ・ Neutrik社製の etherCON CAT5eと適合するRJ-45プラグのケーブルをおすすめします。通常のRJ-45プラグも使用できます。
- ・ 接続する機器はDante機器またはギガビットイーサネット対応機器(コンピューターを含む)だけにしてください。
- ・ Danteネットワーク内では、ネットワークスイッチのEEE機能を使用しないでください。EEE機能によってクロック同期性能が悪化して音声途切れる場合があります。詳細はリファレンスマニュアルをご参照ください。

②② [LINK/ACT]

[PRIMARY]端子と[SECONDARY]端子それぞれの通信状態をあらわすインジケータです。イーサネットケーブルが正しく接続されている場合には速く点滅します。

②③ [1G]

Danteネットワークがギガビットイーサネットとして機能しているときに点灯するインジケータです。

②④ ネットワーク端子

イーサネットケーブル(CAT5以上を推奨)を使用して、コンピューターと接続するRJ-45端子です。

ご注意

電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をご使用ください。

②⑤ AC IN端子[A]/[B]

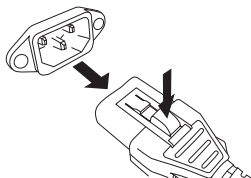
付属の電源コードを接続します。まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

**注意**

電源コードを接続したり、取り外す前に必ず電源をオフにしてください。

電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。付属の電源コードはラッチによるロック機構(Vロック)を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうことを防ぎます。

電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。

**②⑥ 排気口**

本製品には冷却用ファンが装備されています。ここから排気が行われますので、障害物などで排気口をふさがないでください。

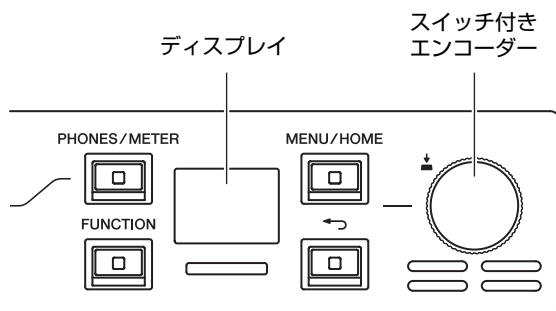
**注意**

本製品の通風孔をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面/背面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

ディスプレイ操作

基本操作

フロントパネルにあるディスプレイと
[PHONES/METER]キー、[FUNCTION]キー、
[MENU/HOME]キー、[←] (バック)キー、スイッチ付き
エンコーダーを使用してさまざまなパラメーターを設定
します。



選択	スイッチ付きエンコーダーを回します。 (選択中のパラメーターは反転表示されます。)
確定	スイッチ付きエンコーダーを押します。
1つ前の画面に移動	[←] (バック)キーを押します。

主な画面

表示されている画面は一例です。

NOTE

画面の詳細やその他の画面は、リファレンスマニュアルをご参照ください。ヤマハ プロオーディオ ウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

ホーム画面



電源スイッチをオンにすると表示される画面です。上段にはUNIT IDが表示され、初期値はY001です。中段にはデバイスラベルの一部が表示されます。下段はステータスバーで、本体の状態がアイコンで表示されます。

MENU TOP画面



メニューを選択する画面です。ホーム画面が表示されているときに、[MENU/HOME]キーを押して表示します。メニューを選択/確定すると、各メニューの画面が表示されます。

コントラスト/輝度調整ポップアップ画面



ディスプレイのコントラストや、ディスプレイとカラーバーインジケータの輝度を設定する画面です。
[MENU/HOME]キーを長押しして表示します。

起動時のミュート

本製品を購入後、最初に起動して使用する際は、HAパラメーター設定を受信するまで入出力がミュートされます。これは、START UPモードが初期設定のREFRESH with MUTEとなっているためです。

START UPモード

起動時のHAパラメーター設定をREFRESH with MUTE、RESUME w/o MUTE、またはREFRESH w/o MUTEから選択します。

START UPモードの設定画面を表示するには、まずMENU TOP画面を表示してSETUPを選択/確定します。次にSETUPメニューでSTART UPを選択/確定します。

設定が有効になるのは、次回起動時です。

REFRESH with MUTE (初期設定)

内蔵メモリーの一部を初期化して起動します。対応機器からのHAパラメーター設定を受信するまで入出力がミュートされます。

NOTE

対応機器からHAパラメーター制御する場合は、設定を受信するまで不用意に音声を出力することを防ぐため、この設定にすることをおすすめします。

RESUME w/o MUTE

前回電源をオフにする前の状態で起動します。入出力がミュートされません。

REFRESH w/o MUTE

内蔵メモリーの一部を初期化して起動します。初期値はREFRESH with MUTEの場合と同じです。ただし、入出力がミュートされません。

本体の初期化

本体の内蔵メモリーにエラーが起きて操作できなくなった場合に初期化する(工場出荷時の設定に戻す)ときは、以下のように操作してください。

1. 本体の電源をオフにします。
2. [FUNCTION]キーと[MENU/HOME]キーと[←] (バック)キーを同時に押しながら電源をオンにします。
工場出荷時の設定に戻ります。

NOTE

画面を操作して行う以下の手順でも工場出荷時の設定に戻ります。

- (1) MENU TOP画面を表示してSETUPを選択/確定します。
- (2) SETUPメニューでINITIALIZEを選択/確定します。
- (3) INITIALIZEの設定画面でFACTORY PRESETを選択/確定します。

詳細はリファレンスマニュアルをご参照ください。

仕様

一般仕様

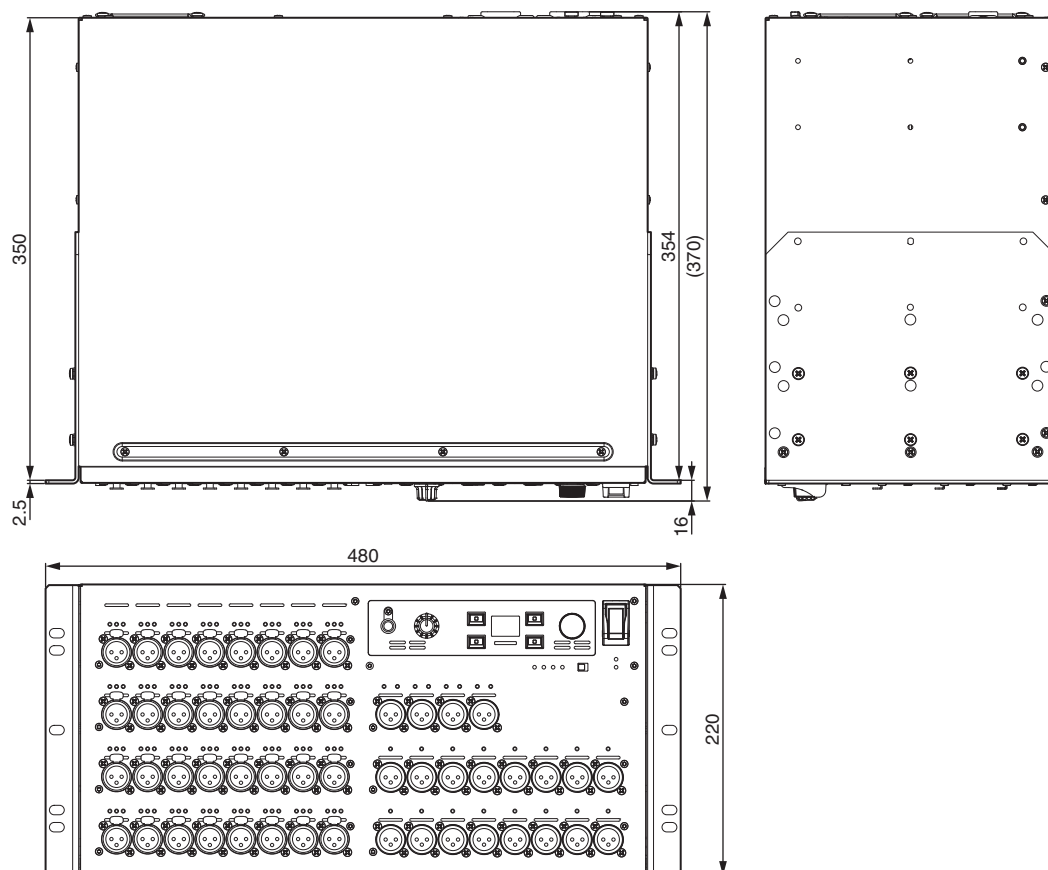
		Rio3224-D3	Rio1608-D3
アナログ入力数		32	16
アナログ出力数		16	8
AES/EBU		8アウト	0
PHONES		1	
サンプリング 周波数	External	44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz ±200 ppm +4.1667%, +0.1%, -0.1%, -4.0% ±200 ppm	
シグナルディレイ		Less than 1.7 ms Rio-D3 INPUT to Rio-D3 OUTPUT connect with DM7 using Dante, Fs=96 kHz. Dante Receive Latency set to 0.25 msec	
電源電圧		100～240 V, 50/60 Hz	
消費電力		100 W	60 W
放熱量		86 kcal/h	52 kcal/h
寸法	W x H x D	480 x 220 x 370 mm	480 x 132 x 370 mm
質量		13.2 kg	9.4 kg
NC値*1	Fan Speed LOW	20	15
	Fan Speed HIGH	30	25
動作温度範囲		Min: 0℃, Max: 40℃	
保管温度範囲		Min: -20℃, Max: 60℃	
付属品		取扱説明書、電源コード×2	

*1. 測定位置: 本体正面から1 m

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

寸法図

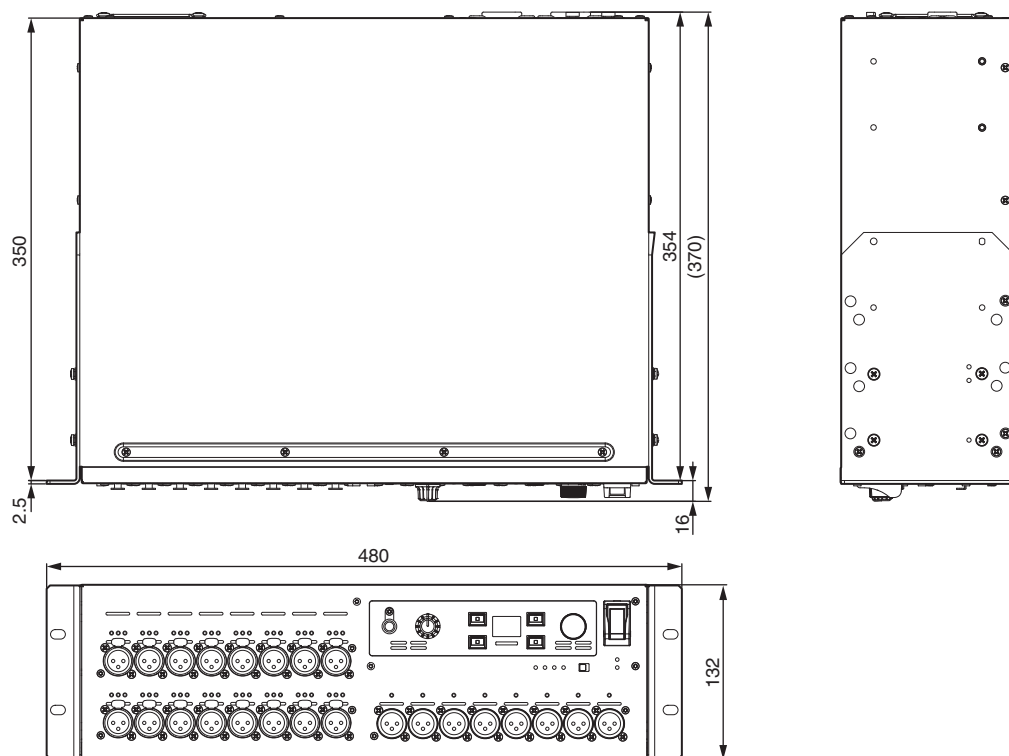
Rio3224-D3



外装色マンセル近似値: N5

単位: mm

Rio1608-D3



外装色マンセル近似値: N5

単位: mm

保証とアフターサービス

サービスのご依頼やお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはこの取扱説明書(以下本書)に記載の修理ご相談センターにご連絡ください。

本書は、保証書の役割を兼ねています。購入を証明する書類(領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの)とあわせて、大切に保管してください。保証期間内に万一本製品が故障した場合には、購入を証明する書類をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。下記の保証規定に基づいて無料修理を行うことをお約束します。

【持込修理】

保証書					
製品名	I/Oラック	品番		製造番号	
お買い上げ日	年 月 日				
保証期間	(お買い上げ日から) 本体: 1年間				
販売店名					

保証規定

保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、本保証規定に基づき無料修理いたします。

■ 保証期間中でも以下の場合は有料となります。

- ・購入を証明する書類(領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの)のご提示がない場合
- ・納品後、輸送や修理時の取り扱いが適当でないために生じた故障の場合
- ・提供されている各説明書や本規定に記載の注意事項に反する取り扱いによって発生した故障の場合
- ・故障の原因が本製品以外の機器にある場合
- ・塗装面および金属面が経年変化により退色、変色した場合
- ・弊社認定の修理サービス技術者以外の者が修理/改造した部分で、その修理/改造が不適当であった場合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災および公害や電圧異常による故障の場合
- ・鼠害、塩害などによる故障、損傷の場合
- ・持込修理対象の品番でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

■ 転居・譲渡などを伴う場合、その他注意事項

- ・転居、ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、修理ご相談センターにご相談ください。
- ・離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行う場合の交通費は実費を申し受けます。
- ・保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合でも、残存期間は保証いたします。
- ・本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only within Japan.)

この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。本規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理

修理が可能な場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例:

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

● 修理のご依頼

本製品に異常が見られた場合は、まずリファレンスマニュアルの「困ったときは」をよくお読みのうえ、本製品の状態をお調べください。それでも改善しないときは、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● 損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

販売元: 株式会社ヤマハミュージックジャパン 音響事業戦略部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号

横浜シンフォステージ ウェストタワー

* 名称、住所は変更になる場合があります。

修理に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターにご連絡ください。

※修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理ご相談センター

フリーダイヤル



0120-149-808

携帯電話、IP電話からは

050-3852-4106

受付 月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

FAX

- 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海): 03-5762-2125
- 西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄): 06-6649-9340

◆ 修理品お持ち込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～12:00、13:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

※お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

● 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT京浜E棟A-5F
FAX 03-5762-2125

● 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F
FAX 06-6649-9340

製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のプロオーディオ・インフォメーションセンターにご連絡ください。

◆ プロオーディオ・インフォメーションセンター

050-3852-4471

受付 月曜日～金曜日 11:00～17:00
(祝日、センター指定休日を除く)

ヤマハ サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>



ヤマハ楽器音響製品お客様サポート
LINE公式アカウント



ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

ASPA01

MEMO

MEMO

